

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容キャリアデザインⅠ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択必修
授業方法	講義
授業時間	150時間
授業コマ数	75コマ
授業概要	各講義、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習及びディスカッションにより知識の定着を図る
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する
教科書	各テキスト
特記	
授業計画	1 色彩学 第1章 色彩と文化(四季の色、日本の色の歴史) 2 色彩学 " 3 色彩学 (色と生活、色の種類) 4 色彩学 " 5 色彩学 第2章 色彩理論(色の仕組み、CIS表色系、色の三属性と対比現象) 6 色彩学 " 7 色彩学 (色の感情効果、配色効果) 8 色彩学 配色練習 9 色彩学 第3章 色彩とファッション(ファッション概論、プライダルと色彩) 10 色彩学 " 11 色彩学 配色練習 12 色彩学 第4章 パーソナルカラー 13 色彩学 配色練習 14 色彩学 直前模擬テスト 15 色彩学 直前模擬テスト 16 ビジネス基礎 漢字検定3級漢字の訓読み、電卓基本操作 17 ビジネス基礎 " 送り仮名、電卓基本操作 18 ビジネス基礎 " 熟語、電卓基本操作 19 ビジネス基礎 " 誤字、電卓検定3、4級導入 20 ビジネス基礎 " 訂正、電卓検定3、4級計測 21 ビジネス基礎 " 同音異義、電卓検定3、4級計測 22 ビジネス基礎 " 異字同訓、電卓検定3、4級計測 23 ビジネス基礎 漢字検定3級項目別復習、電卓検定3、4級計測 24 ビジネス基礎 漢字検定3級答練、電卓検定3、4級計測 25 ビジネス基礎 漢字検定3級、電卓検定3級模擬テスト 26 ビジネス基礎 漢字検定2級漢字の訓読み、電卓検定1、2級導入 27 ビジネス基礎 " 送り仮名、電卓検定1、2級導入 28 ビジネス基礎 " 熟語、電卓検定1、2級導入 29 ビジネス基礎 " 誤字、電卓検定1、2級計測 30 ビジネス基礎 " 訂正、電卓検定1、2級計測 31 ビジネス基礎 " 同音異義、電卓検定1、2級計測 32 ビジネス基礎 " 異字同訓、電卓検定1、2級計測 33 ビジネス基礎 " 反対語、電卓検定1、2級計測 34 ビジネス基礎 " 類義語、電卓検定1、2級計測 35 ビジネス基礎 漢字検定2級、電卓検定2級模擬テスト 36 コンピュータ実務 word 文章の作成① 37 コンピュータ実務 word 文章内の移動① 38 コンピュータ実務 word 文章の書式設定① 39 コンピュータ実務 word オプションの設定、表示のカスタマイズ① 40 コンピュータ実務 word オプションの設定、表示のカスタマイズ② 41 コンピュータ実務 word 文章の印刷、保存① 42 コンピュータ実務 word 文章の印刷、保存② 43 コンピュータ実務 word 文字列・段落の挿入① 44 コンピュータ実務 word 文字列・段落の挿入② 45 コンピュータ実務 word 文字列・段落の書式設定① 46 コンピュータ実務 word 文字列・段落の書式設定② 47 コンピュータ実務 word 文字列・段落の書式設定③ 48 コンピュータ実務 word 文字列・段落の並び替え、グループ化① 49 コンピュータ実務 word 文字列・段落の並び替え、グループ化② 50 コンピュータ実務 word 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 51 コンピュータ実務 word 表の作成 52 コンピュータ実務 word 表の変更① 53 コンピュータ実務 word 表の変更② 54 コンピュータ実務 word リストの作成、変更① 55 コンピュータ実務 word リストの作成、変更② 56 コンピュータ実務 word 参照のための情報・記号の作成、管理① 57 コンピュータ実務 word 参照のための情報・記号の作成、管理② 58 コンピュータ実務 word 標準の参考資料作成、管理① 59 コンピュータ実務 word 標準の参考資料作成、管理② 60 コンピュータ実務 word グラフィック要素の挿入① 61 コンピュータ実務 word グラフィック要素の挿入② 62 コンピュータ実務 word グラフィック要素の書式設定① 63 コンピュータ実務 word グラフィック要素の書式設定② 64 コンピュータ実務 word SmartArtの挿入、書式設定① 65 コンピュータ実務 word SmartArtの挿入、書式設定② 66 就職実務 就職の心構え、就職スケジュール、サロン実習スケジュール 67 就職実務 サロン実習事前準備(企業研究) 68 就職実務 サロン実習事前準備(企業研究、自己紹介表作成) 69 就職実務 サロン実習事前準備(自己紹介表作成) 70 就職実務 サロン実習事前準備(訪問準備) 71 就職実務 サロン実習事前準備(企業研究) 72 就職実務 サロン実習事前準備(企業研究、自己紹介表作成) 73 就職実務 サロン実習事前準備(自己紹介表作成) 74 就職実務 サロン実習事前準備(訪問準備) 75 就職実務 定期試験
成績評価方法(試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	関係法規・制度 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20 時間
授業コマ数	10 コマ
授業概要	法制度の概要から我が国の衛生行政について学ぶとともに、美容師法の要求する美容師・美容所についての規定を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 法制度の概要（社会人における法の役割） 2 法制度の概要（法の形式、衛生法規の概要） 3 法制度の概要（理容師・美容師と付属法令、衛生行政の意義と歴史） 4 衛生行政の概要（衛生行政の分類と生活衛生行政の内容、衛生行政を担う行政機関） 5 美容師法（目的、用語の定義） 6 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定） 7 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定） 8 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定） 9 美容師法（人（理容師・美容師）に関する規定） 10 確認テスト1・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	衛生管理 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	5 0 時間
授業コマ数	2 5 コマ
授業概要	美容業務において、人の健康に関わる事が多いため、プロとして求められる衛生管理の知識、技術を身につけるようにする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 欧米、わが国の公衆衛生の歩み、消毒法の歴史 2 保健所 3 出生率の低下、母子保健水準の改善 4 我が国における死亡率の低下、平均寿命の伸び、生活習慣病とその対策、健康増進対策 5 がん、心臓病、脳卒中 6 糖尿病、喫煙、アルコール、身体活動・運動 7 高齢者の保健と福祉、精神保健 8 確認テスト1・解答・解説 9 環境衛生の概要 10 空気と健康、温度、湿度、気流と健康 11 衣服の衛生、住居の衛生 12 上水道、下水道、廃棄物 13 衛生害虫、ネズミ、水質汚濁 14 確認テスト2・解答・解説 15 公衆衛生・環境衛生テスト、解答解説 16 感染症発見の歴史、感染症と法律 17 感染症の分類（法律上、身体への侵入、媒介経路、病原体別の分類） 18 微生物の形と大きさ、微生物の構造 19 微生物の増殖と環境の影響 20 微生物の病原性と人体の感受性、汚染、感染及び発病 21 常在細菌叢、免疫と予防接種 22 感染症発生の要因 23 感染症予防の3原則 24 結核、ジフテリア、SARS 25 鳥インフルエンザ、インフルエンザ、新型インフルエンザ
成績評価方法 (試験実施方法)	<p>確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト</p> <p>授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況</p> <p>平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度</p>
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	保健 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	5 0 時間
授業コマ数	2 5 コマ
授業概要	美容師として必要な基礎的な人体の構造、皮膚科学について学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 人体各部の名称、頭部、顔部、頸部の名称 2 頭部、顔部、頸部の体表解剖 3 骨の種類と構造、骨の連結、骨格器とそのはたらき 4 筋の種類とその特徴、全身の主な骨格筋の名称、主な骨格筋とそのはたらき 5 表情筋と表情運動、神経系の成り立ち 6 中枢神経とそのはたらき、抹消神経とそのはたらき 7 確認テスト1・解答・解説 8 視覚～皮膚感覚 9 血液のあらまし、血液循環の仕組み 10 血液の循環経路、心臓と血管のはたらき 11 呼吸器のあらまし、気道、肺の仕組みとガス交換、呼吸運動 12 消化器系のあらまし、消化管の仕組み、消化管のはたらき、消化と物質代謝 13 確認テスト2・解答・解説 14 人体の構造及び機能 復習 15 人体の構造及び機能 テスト、解答解説 16 皮膚の表面、皮膚の断面 17 表皮 18 表皮と神秘の境、真皮、皮下組織、皮膚の部位差 19 毛の構造 20 毛の成長周期～立毛筋 21 脂腺、汗腺、爪 22 皮膚の血管、リンパ管、神経、対外保護作用 23 体温調節機能、知覚作用と皮膚反射、分泌排泄作用 24 呼吸作用～爪のはたらき 25 確認テスト3・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	<p>確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト</p> <p>授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況</p> <p>平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度</p>
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	化粧品化学 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40 時間
授業コマ数	20 コマ
授業概要	化粧品に用いられる原料の化学的性質や配合目的などについて学び、安全性及び使用目的について知識を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 混合物と純物質 水の化学式（元素、元素記号） 原子量 2 溶解（極性分子、水） 水への溶解（糖質と溶解度） 3 コロイド溶液（サスペンション、エマルジョン、エアロゾル） 酸と塩基 4 中和反応と塩 PH 緩衝作用と緩衝液 5 酸化・還元 炭水化物とタンパク質 6 化学分野の復習 7 確認テスト1・解答・解説 8 化粧品の規制（薬事法、化粧品・医薬部外品の違い） 表示・広告の規制 9 化粧品原料 人体各部の性状（皮膚、毛髪、爪、まぶた、口唇） 10 水性原料 油性原料（油脂、不乾性油） 11 ロウ類 炭化水素 高級脂肪酸 12 界面活性剤（乳化、可溶化、分散、種類） 13 高分子化合物（天然、半合成、合成、PVA、PVP） 14 色材（無機顔料、有機顔料、光輝性顔料、天然色素） 15 香料（天然香料、合成香料、調合香料） 16 その他の配合成分（防腐剤、酸化防止剤、保湿剤、紫外線吸収剤、収れん剤） 17 高分子化合物（合成樹脂） 石けん 化粧品 18 クリーム 乳液 19 まとめ・復習 20 確認テスト2・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容技術理論 I
実務家教員授業	○
学部・学科	美容科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習・実習
授業時間	90時間
授業コマ数	45コマ
授業概要	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習、実習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 美容技術を学ぶにあたって（美容理論と美容技術、美容技術における作業姿勢、美容技術に必要な人体各部の名称） 2 美容用具（美容技術における道具、コーム、ブラシ） 3 美容用具（シザーズ、レザー） 4 美容用具（ピン類・ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機） 5 シャンプーイング（シャンプーイング総論） 6 " 7 シャンプーイング（サイドシャンプー） 8 シャンプーイング（バックシャンプー） 9 シャンプーイング（リンス・コンディショナー・トリートメント） 10 シャンプーイング（リンス・コンディショナー・トリートメント）（スキャルプトリートメント） 11 シャンプーイング（スキャルプトリートメント）（ヘッドスパ） 12 ヘアデザイン（美容とデザイン） 13 " 14 " 15 確認テスト1・解答・解説 16 カットイング（ヘアブロッキングとは、シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ヘアカットイングの正しい姿勢、ブロッキング） 17 カットイング（ヘアカットイングの基礎理論、ベーシックなカット技法） 18 カットイング（シザーズによるカット技法、レザーによるカット技法） 19 カットイング（実習：ワンレングス） 20 " 21 パーマネントウェービング（パーマネントウェーブの歴史と現在、パーマネントウェーブの総論、パーマの分類） 22 パーマネントウェービング（パーマ剤に関する注意事項、パーマネントウェーブ技術） 23 パーマネントウェービング（実習：ウェーブ） 24 " 25 パーマネントウェービング（ワインディングのバリエーション、縮毛矯正） 26 パーマネントウェービング（実習：ストレート） 27 " 28 ヘアセッティング（ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェーピング） 29 ヘアセッティング（ヘアカーリング） 30 ヘアセッティング（実習：カール） 31 " 32 ヘアセッティング（ヘアウェービング） 33 ヘアセッティング（実習：ウェービング） 34 " 35 ヘアセッティング（ローラーカーリング、ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース） 36 ヘアカラーリング（ヘアカラーリング総論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴） 37 ヘアカラーリング（染毛のメカニズム、色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン） 38 ヘアカラーリング（パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具） 39 ヘアカラーリング（酸化染毛剤の技術手順、酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ） 40 ヘアカラーリング（実習：ブリーチ） 41 " 42 確認テスト2・解答・解説 43 まとめ）序章～3章 44 まとめ）4章～5章 45 まとめ）6章～7章
成績評価方法 (試験実施方法)	<p>確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト</p> <p>授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況</p> <p>平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度</p>
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	運営管理 I
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20 時間
授業コマ数	10 コマ
授業概要	サービス業としてお客様の求める価値を考え、提供し満足していただける接客、経営戦略を学ぶ。社会人として健全に働くために、労務管理、健康管理の重要性を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 経営が必要とされる理由～経営戦略が目指すもの 顧客に選ばれるよい店の実現 2 業界の概要～理容業・美容業の顧客について 3 資金管理の重要性～税金について 4 人という資源とは～労働者の権利 5 健康管理の基礎～理容・美容の作業環境に関する健康問題 6 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任 7 確認テスト1・解答・解説 8 顧客が求める価値～サービスの範囲 9 理容業・美容業のマーケティング～サービスのシステム化 10 接客についての理解～接客の実践③
成績評価方法 (試験実施方法)	<p>確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト</p> <p>授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況</p> <p>平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度</p>
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	美容実習 I			
実務家教員授業	○			
学部・学科	美容科			
履修年次	1年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習・実習			
授業時間	390時間			
授業コマ数	195コマ			
授業概要	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得を容易にする			
授業の進め方	テキストによる講義と、実習により技術を習得する			
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする			
教科書	テキスト（教育センター発行）			
特記				
授業計画	1	ワインディング（道具の使い方、セッティング）	53	ワインディング（左バックサイド～ネイブの確認）
	2	ワインディング（ブレーンリンス、コームの使い方）	54	”
	3	ワインディング（ブロッキング・センターの取り方）	55	ワインディング（フロントの入れ方確認）
	4	ワインディング（ブロッキング・サイドの取り方）	56	”
	5	ワインディング（ブロッキングの確認）	57	ワインディング（右バックサイド～ネイブの入れ方確認）
	6	”	58	”
	7	ワインディング（上巻きの巻き方）	59	ワインディング（左バックサイド～ネイブの入れ方確認）
	8	”	60	”
	9	ワインディング（上巻きの確認）	61	ワインディング（全頭タイム計測）
	10	”	62	”
	11	ワインディング（下巻きの巻き方）	63	”
	12	”	64	”
	13	ワインディング（下巻きの確認）	65	”
	14	”	～	ワインディング（全頭タイム計測35分）
	15	ブロッキングのタイム計測 上巻き、下巻きの確認	70	”
	16	”	71	”
	17	ワインディング（ステムの確認、ステムのテンション、ロッドの配置）	～	ワインディング綺麗巻き
	18	”	78	”
	19	ワインディング（頭の丸みに合わせたステム角度、ゴムのよじれ）	79	”
	20	”	～	ワインディング（全頭タイム計測30分）
	21	ワインディング（シェイプの基本）	98	”
	22	”	99	”
	23	ワインディング（上巻きと下巻きの繋ぎ方）	～	ワインディング（全頭タイム計測25分）
	24	”	118	”
	25	ワインディング（センターの巻き方）	119	”
	26	”	～	ワインディング（全頭タイム計測20分）
	27	”	138	”
	28	”	139	”
	29	ブロッキングタイム計測	～	学内コンテスト準備（ワインディング タイム計測）
	30	”	148	”
	31	センタータイム計測	149	学内コンテストリハーサル（ワインディング）
	32	”	150	”
	33	”	151	学内コンテスト（ワインディング 20分ブロッキング別）
	34	”	152	”
	35	ワインディング（右フロント～バックサイドの巻き方）	153	”
	36	”	154	オールウェーブウィッグ作成（カット、セニング）
	37	ワインディング（右フロント～バックサイドの確認）	155	”
	38	”	156	オールウェーブ（道具の使い方、セッティング）
	39	ワインディング（右バックサイド～ネイブの巻き方）	157	オールウェーブ（ローション塗布）
	40	”	158	オールウェーブ（コームの持ち方、シェープの仕方）
	41	ワインディング（右バックサイド～ネイブの確認）	159	オールウェーブ（シェープの仕方）
	42	”	160	オールウェーブ（Cカールの作り方）
	43	センター綺麗巻き	161	”
	44	”	162	オールウェーブ（Cカールの作り方2段）
	45	”	163	”
	46	”	164	オールウェーブ（Cカールの作り方4段）
	47	ワインディング（左フロント～バックサイドの巻き方）	165	”
	48	”	166	Cカール4段確認
	49	ワインディング（左フロント～バックサイドの確認）	167	”
	50	”	168	”
	51	ワインディング（左バックサイド～ネイブの巻き方）	～	サロン実務実習（環境理解、衛生意識行動、美容技術習得）
	52	”	195	”
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の平均で評価する			
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容				
授業科目	職業実践 I				
実務家教員授業	○				
学部・学科	美容科				
履修年次	1年次				
開講学期	後期				
科目区分	選択必修				
授業方法	演習・実習				
授業時間	150時間				
授業コマ数	75コマ				
授業概要	各実習、演習を通じて実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する				
授業の進め方	各種実習を通じて、基本知識の習得や技能の定着を図る				
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する				
教科書	なし				
特記					
授業計画	1	サイドシャンブー (クロスの付け方、ブラッシング)	39	メイク	〃
	2	サイドシャンブー (ウェット手順、ヘアドライ)	40	メイク	実技 (ポイントメイク)
	3	サイドシャンブー (1シャンブー手順説明)	41	メイク	〃
	4	〃	42	メイク	実技 (ポイントメイク、アイブロウ)
	5	サイドシャンブー 1シャンブー 相モデル	43	メイク	〃
	6	〃	44	メイク	実技 (ポイントメイク、アイブロウ～アイシャドウ)
	7	〃	45	メイク	〃
	8	〃	46	メイク	メイク理論 (ベースメイクの目的)
	9	サイドシャンブー (2シャンブー、スキャルブマッサージ手順説明)	47	メイク	〃
	10	〃	48	メイク	メイク理論テスト 解答・解説
	11	サイドシャンブー 2シャンブー 相モデル	49	メイク	実技 テスト前演習
	12	〃	50	メイク	実技メイクテスト
	13	〃	51	カット	(シザーの使い方、コームの使い方)
	14	〃	52	ワンレングスカット	(ワンレングスとは、カット手順説明)
	15	サイドシャンブーテスト	53	ワンレングスカット	(ネイブ、バックトップの切り方)
	16	ヘッドスパ手順説明	54	ワンレングスカット	(サイドの切り方)
	17	〃	55	グラデーションカット	(グラデーションとは、カット手順説明)
	18	ヘッドスパ 相モデル	56	グラデーションカット	(ガイドの切り方)
	19	〃	57	グラデーションカット	(ネイブ～ミドルの切り方)
	20	〃	58	グラデーションカット	(サイド～トップの切り方)
	21	ヘアデザイン 道具の使い方、一束、ピン留め	59	グラデーションカット2	(ブロッキング、ネイブの切り方)
	22	ヘアデザイン コテ、アイロン、ホットカーラー	60	グラデーションカット2	(エレベーション&ダイレクション)
	23	ヘアデザイン 三つ編み、編み込み、ロープ編み、四つ編み丸型、エクステンション	61	グラデーションカット3	(ブロッキング、アウトライン)
	24	ヘアデザイン 本夜会巻き、新日本髪	62	グラデーションカット3	(エレベーション&ダイレクション)
	25	ヘアデザイン 模擬テスト	63	ブロー	(デンマンブラシの使い方)
	26	メイク メイク理論 (メイクとは)	64	ブロー	(ロールブラシの使い方)
	27	メイク メイク理論 (パーツの名称、美しい肌の条件)	65	パーマ	(パーバスの巻き方)
	28	メイク メイク理論 (肌トラブルと原因、筋肉)	66	パーマ	(薬剤の付け方)
	29	メイク 実技 (クレンジング)	67	ブリーチ	(道具の使い方、ウィービング)
	30	メイク メイク理論 (クレンジングの目的、種類)	68	ブリーチ	(ウィービング実践)
	31	メイク 実技 (クレンジング～乳液)	69	ブリーチ	(全頭)
	32	メイク	70	〃	〃
	33	メイク 実技 (スキンケアの目的、皮膚の色)	71	ウイッグ制作	(ブリーチ)
	34	メイク 実技 (化粧水～ファンデーション)	72	〃	〃
	35	メイク	73	ウイッグ制作	(カラーリング)
	36	メイク 実技 (化粧水～ファンデーション、ハイライト、ローライト、チーク)	74	〃	〃
	37	メイク	75	ウイッグ制作	(スタイリング)
	38	メイク 実技 (ファンデーション～アイブロウ)			
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の平均で評価する				
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	美容キャリアデザインⅡ	
実務家教員授業		
学部・学科	美容科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必修	
授業方法	講義	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	各講義、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習及びディスカッションにより知識の定着を図る	
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する	
教科書	各テキスト	
特記		
授業計画	1	コンピュータ実務 excel ワークシートやブックの作成と管理①
	2	コンピュータ実務 excel ワークシートやブックの作成と管理②
	3	コンピュータ実務 excel テーブルの作成①
	4	コンピュータ実務 excel テーブルの作成②
	5	コンピュータ実務 excel 関数を使用するデータの集計①
	6	コンピュータ実務 excel 関数を使用するデータの集計②
	7	コンピュータ実務 excel 関数を使用するデータの集計③
	8	コンピュータ実務 excel 関数を使用するデータの集計④
	9	コンピュータ実務 excel 関数を使用する条件付き計算①
	10	コンピュータ実務 excel 関数を使用する条件付き計算②
	11	コンピュータ実務 excel 関数を使用する条件付き計算③
	12	コンピュータ実務 excel 関数を使用して文字列を整形、変更①
	13	コンピュータ実務 excel 関数を使用して文字列を整形、変更②
	14	コンピュータ実務 excel 関数を使用して文字列を整形、変更③
	15	コンピュータ実務 excel グラフの作成①
	16	コンピュータ実務 excel グラフの作成②
	17	コンピュータ実務 excel グラフの書式設定
	18	コンピュータ実務 excel オブジェクトの挿入や書式設定
	19	コンピュータ実務 excel テーブルの作成、管理①
	20	コンピュータ実務 excel テーブルの作成、管理②
	21	コンピュータ実務 excel テーブルのスタイル設定、オプション管理①
	22	コンピュータ実務 excel テーブルのスタイル設定、オプション管理②
	23	コンピュータ実務 excel テーブルのフィルター、並べ替え①
	24	コンピュータ実務 excel テーブルのフィルター、並べ替え②
	25	コンピュータ実務 excel データのアウトラインを作成
	26	コンピュータ実務 excel 小計の挿入
	27	コンピュータ実務 excel MOS検定模擬試験
	28	コンピュータ実務 excel MOS検定模擬試験
	29	コンピュータ実務 excel MOS検定模擬試験
	30	コンピュータ実務 excel MOS検定模擬試験
	31	就職実務 自己分析
	32	就職実務 自己分析
	33	就職実務 自己分析
	34	就職実務 自己分析、企業研究
	35	就職実務 企業研究
	36	就職実務 企業研究
	37	就職実務 企業研究
	38	就職実務 企業研究、志望動機
	39	就職実務 志望動機
	40	就職実務 履歴書作成
	41	就職実務 履歴書作成
	42	就職実務 面接練習(面接試験における質問研究)
	43	就職実務 面接練習(挨拶・お辞儀・入室確認)
	44	就職実務 面接力トレーニング(自己PR・志望動機・面接演習質問)
	45	就職実務 面接力トレーニング(自己PR・志望動機・面接演習質問)
	46	就職実務 模擬テスト
	47	就職実務 職場のマナー(仕事の進め方、「ほう・れん・そう」とは)
	48	就職実務 挨拶と敬語(挨拶の種類、笑顔・お辞儀、正しい敬語の使い方)
	49	就職実務 挨拶と敬語(対応の基本)
	50	就職実務 電話応対STEP1(電話応対のマナー、電話の受け方)
	51	就職実務 電話応対STEP1(電話のかけ方)
	52	就職実務 接客マナー(接客対応のプロとして、店内接客の基本)
	53	就職実務 クレーム対応(クレームとは、クレーム対応方法、電話でのクレーム対応、店内でのクレーム対応)
	54	就職実務 社会人マナー(郵便の知識とFAX送信状、冠婚葬祭のマナー)
	55	就職実務 社会人マナー(贈答のマナー、会食のマナー)
	56	就職実務 社会人マナー(職場でのNG)
	57	就職実務 電話応対STEP2(状況別の電話応対)
	58	就職実務 電話応対STEP2(状況別の電話応対)
	59	就職実務 電話応対STEP2(状況別の電話応対)
	60	就職実務 模擬テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する	
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	関係法規・制度Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	10時間
授業コマ数	5コマ
授業概要	法制度の概要から我が国の衛生行政について学ぶとともに、美容師法の要求する美容師・美容所についての規定を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
	<ol style="list-style-type: none"> 1 美容師法（施設（理容師・美容師）に関する規定 2 美容師法（施設（理容師・美容師）に関する規定 3 美容師法（立入検査と衛生監視員、違反者等に対する行政処分、罰則） 4 関連法規 5 関係法規 テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内テスト及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	衛生管理Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	美容業務において、人の健康に関わる事が多いため、プロとして求められる衛生管理の知識、技術を身につけるようにする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
	26 麻しん、百日せき、風しん 27 細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、A型肝炎 28 B型肝炎、C型肝炎、エイズ、梅毒 29 ラッサ熱、ペスト、デング熱、具体的な対策例 30 確認テスト3・解答・解説 31 消毒とは、消毒の意義 32 消毒に関連のある法の規定 33 消毒法の種類、消毒に必要な条件、病原微生物の抵抗力、消毒薬の使用、保存の注意 34 紫外線消毒、煮沸消毒、蒸気消毒 35 アルコール消毒、次亜塩素酸ナトリウム消毒、界面活性剤消毒、グルコン酸クロルヘキシジン消毒 36 すぐれた消毒法と実施上の注意、希釈倍数 37 器具類の消毒法 38 美容所の清潔法の実際 39 衛生管理の実践例 目的、施設及び設備、管理 40 衛生的扱い等、消毒～自主的管理体制、美容所の自主管理点検表 41 確認テスト4・解答・解説 42 公衆衛生、環境衛生 復習 43 感染症 復習 44 衛生管理技術 復習 45 衛生管理テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	保健Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	美容師として必要な基礎的な人体の構造、皮膚科学について学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
	1 皮膚と全身状態～皮膚と体内病変 2 皮膚の水分と脂の状態～皮膚・付属機関とホルモン 3 皮膚の保護と手入れ～子どものおしゃれによる皮膚トラブル 4 皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹(カブレ前半) 5 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹(カブレ後半～湿疹患者のケア) 6 分泌異常による皮膚疾患～ウイルスによる皮膚疾患 7 真菌による皮膚疾患～感染症の皮膚疾患の予防 8 毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍 9 確認テスト4・解答・解説 10 皮膚科学 復習 11 皮膚科学 テスト、解説 12 人体 人体の構造、骨格器系 復習 13 人体 筋系、神経系 復習 14 人体 感覚器系、血液・循環器系 復習 15 人体 呼吸器系、消化器系 復習 16 皮膚科学 皮膚の構造、皮膚付属器官の構造 復習 17 皮膚科学 皮膚の循環器系と神経系、皮膚と皮膚付属器官の生理機能 復習 18 皮膚科学 皮膚と皮膚付属器官の保健 復習 19 皮膚科学 皮膚と皮膚付属器官の疾患 復習 20 保健テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	化粧品化学Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	化粧品に用いられる原料の化学的性質や配合目的などについて学び、安全性及び使用目的について知識を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
	1 シャンプー リンス スタイリング剤 2 パーマ剤（第1剤と第2剤の違い） 一時染毛剤 3 永久染毛剤 4 育毛剤 5 芳香製品（香水、オーデコロン） サンケア製品（サンスクリーン製品、サンタン製品） 6 まとめ・復習 7 化粧品テスト・解答・解説 8 国家試験対策（過去問） 9 “ 10 “
成績評価方法 (試験実施方法)	項目別試験及び、定期試験の平均で評価する
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	文化論Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	古代から現代までの美容の歴史を振り返り、日本の基本的伝統文化の知識を習得する。また、これからの美容のあり方を考察する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	
	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代Ⅳ（1960年代）、現代Ⅴ（1970年代） 2 現代Ⅳ（1980年代）、現代Ⅶ（1990年代～2010年） 3 ファッション文化史（西洋編）まとめ 4 和装の礼装 5 洋装の礼装 6 第1章（総論）、第2章（第1節～第4節）復習 7 第3章（第1節～第10節）復習 8 第4章（第1節～第17節）復習 9 第5章（礼装の種類）復習 10 確認テスト3・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	美容技術理論Ⅱ
実務家教員授業	○
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義・演習・実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	90時間
授業コマ数	45コマ
授業概要	実務経験のある講師が、基礎的理論を基に技術に理論的根拠をあたえ、技術の習得を容易にする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習、実習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト(教育センター発行)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 エステティック(エステティック概論、皮膚の生理と構造) 2 エステティック(カウンセリング、美容におけるマッサージ理論、ボディケア技術、ボディマッサージ) 3 エステティック(フェイシャルケア技術、フェイシャル及びデコルテマッサージ、フェイシャルパック) 4 エステティック(実習:フェイシャルケア) 5 ネイル技術(ネイル技術概論、ネイル技術の種類、爪の構造と機能) 6 ネイル技術(爪のカットの形状、ネイル技術と公衆衛生、カウンセリング、ネイルケア、アーティフィシャルネイル) 7 ネイル技術(実習:ネイルケア、ハンドマッサージ) 8 ネイル技術(実習:ジェルネイル) 9 ネイル技術(実習:ネイルアート) 10 メイクアップ(メイクアップ概論、顔の形態学的な観察) 11 メイクアップ(メイクアップと色彩、皮膚の生理と構造) 12 メイクアップ(メイクアップの道具、スキンケア) 13 メイクアップ(ベースメイクアップ、アイメイクアップ、リップメイクアップ) 14 メイクアップ(ブラッシュオンメイクアップ、まつ毛エクステンション) 15 確認テスト3・解答・解説 16 メイクアップ(実習:まつ毛エクステンション) 17 " 18 " 19 " 20 日本髪(日本髪の由来、日本髪の各部の名称) 21 日本髪(日本髪の種類と特徴、日本髪と調和) 22 日本髪(日本髪の装飾品、日本髪の結髪道具) 23 日本髪(日本髪の結髪技術、日本髪の手入れ) 24 日本髪(かつら) 25 着付けの理論と技術(実習:浴衣着付け) 26 " 27 着付けの理論と技術(着付けの目的、礼装) 28 着付けの理論と技術(着物と季節、着物のいろいろ) 29 着付けの理論と技術(帯、小物) 30 着付けの理論と技術(着物各部の名称、着物のたたみ方) 31 着付けの理論と技術(着付けの一般的要領、留袖着付け技術) 32 着付けの理論と技術(振袖着付け技術、帯締め・帯揚げの結び方) 33 着付けの理論と技術(男子礼装羽織・袴着付け技術、羽織のひもの結び方) 34 着付けの理論と技術(女子袴着付け技術、婚礼着付けの際の注意事項) 35 着付けの理論と技術(和装花嫁、洋装花嫁) 36 確認テスト4・解答・解説 37 まとめ)8~9章 38 まとめ)10章 39 まとめ)11章 40 まとめ)12章 41 国家試験対策(過去問) ~ " 45 "
成績評価方法 (試験実施方法)	<p>確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度</p>
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	運営管理Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	美容科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	10時間
授業コマ数	5コマ
授業概要	サービス業としてお客様の求める価値を考え、提供し満足していただける接客、経営戦略を学ぶ。社会人として健全に働くために、労務管理、健康管理の重要性を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により知識の定着を図る
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする
教科書	テキスト（教育センター発行）
特記	「実務経験のある教員による授業科目」に対応 <ol style="list-style-type: none"> 1 接客の実践④～問題を深刻化させないための対策・対処 2 確認テスト・解答・解説 3 経営者の視点、人という資源 復習 4 顧客のために 復習 5 運営管理テスト・解答・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト50% 4択20題と○×10題の基本・応用的な知識を測定するテスト 授業内テスト25% 講義後の小テストの解答状況 平常点25% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	美容実習Ⅱ			
実務家教員授業	○			
学部・学科	美容科			
履修年次	2年次			
開講学期	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義・演習・実習			
授業時間	510時間			
授業コマ数	255コマ			
授業概要	実務経験のある講師が、美容基礎技術を基に技術の習得を容易にする			
授業の進め方	テキストによる講義と、実習により技術を習得する			
達成目標	美容師国家試験合格を目標とする			
教科書	テキスト（教育センター発行）			
特記				
授業計画	1	オールウェーブ（Cカール4段）	65	オールウェーブ（1～3段確認）
	2	"	66	"
	3	オールウェーブ（Cカール確認）	67	オールウェーブ（4～7段確認）
	4	"	68	"
	5	オールウェーブ（リッジの作り方）	69	オールウェーブ（全頭確認）
	6	"	70	"
	7	オールウェーブ（リッジの作り方確認）	71	"
	8	"	72	"
	9	オールウェーブ（リッジ2段の作り方）	73	オールウェーブ（全頭タイム計測）
	10	"	74	"
	11	オールウェーブ（リッジ2段の作り方確認）	75	"
	12	"	76	"
	13	オールウェーブ（リッジ4段の作り方）	77	"
	14	"	78	"
	15	オールウェーブ（リッジ4段の作り方確認）	79	"
	16	"	～	学外コンテスト準備（ワインディングタイム計測）
	17	リッジ4段確認	98	"
	18	"	99	"
	19	オールウェーブ（1段目のシェーブの手順）	～	学生技術選手権準備（ワインディングタイム計測）
	20	オールウェーブ（スカルプチュアカールの作り方）	118	"
	21	オールウェーブ（1段目のシェーブの確認）	119	カット（道具の使い方、セッティング）
	22	オールウェーブ（スカルプチュアカールの作り方）	120	カット（ブロッキングの取り方）
	23	オールウェーブ（1段目の確認）	121	カット（ポイントの長さの切り方）
	24	"	122	カット（フロントの切り方）
	25	オールウェーブ（2段目のシェーブの手順）	123	カット（アウトラインの切り方）
	26	オールウェーブ（2段目リッジの作り方）	124	カット（ネイブの切り方）
	27	オールウェーブ（2段目のシェーブの確認）	125	カット（バックミドルの切り方）
	28	オールウェーブ（2段目リッジの確認）	126	カット（右サイドの切り方）
	29	オールウェーブ（1～2段の確認）	127	カット（左サイドの切り方）
	30	"	128	カット（フロントの切り方）
	31	オールウェーブ（3段目のシェーブの手順）	129	カット（もみあげの切り方）
	32	オールウェーブ（スカルプチュアカールの作り方）	130	カット（みつえりの切り方）
	33	オールウェーブ（3段目のシェーブの確認）	131	カット（チェックカット）
	34	オールウェーブ（スカルプチュアカールの作り方）	132	カット（修正ポイント）
	35	オールウェーブ（3段目の確認）	133	カット（ブロッキング～フロント確認）
	36	"	134	"
	37	オールウェーブ（1～3段の確認）	135	カット（アウトライン～ネイブ確認）
	38	"	136	"
	39	1～3段目の確認	137	カット（バック～サイド確認）
	40	"	138	"
	41	オールウェーブ（4段目のシェーブの手順）	139	カット（フロント～チェック）
	42	オールウェーブ（リフトカールの作り方）	140	"
	43	オールウェーブ（4段目のシェーブの確認）	141	"
	44	オールウェーブ（リフトカールの作り方）	～	カット（全頭タイム計測）
	45	オールウェーブ（4段目の確認）	148	"
	46	"	149	"
	47	オールウェーブ（5段目のシェーブの手順）	～	学内コンテスト準備（カット及び第2課題）
	48	オールウェーブ（逆リフトカールの作り方）	158	"
	49	オールウェーブ（5段目のシェーブの確認）	159	学内コンテストリハーサル（カット及び第2課題）
	50	オールウェーブ（逆リフトカールの作り方）	160	"
	51	オールウェーブ（5段目の確認）	161	学内コンテスト（カット及び第2課題）
	52	"	162	"
	53	オールウェーブ（6段目のシェーブの手順）	163	衛生技術の理解
	54	オールウェーブ（メイボールカールの作り方）	164	"
	55	オールウェーブ（6段目のシェーブの確認）	165	技術マニュアルの確認
	56	オールウェーブ（メイボールカールの作り方）	166	"
	57	オールウェーブ（6段目の確認）	167	道具の清掃
	58	"	168	"
	59	オールウェーブ（7段目のシェーブの手順）	169	"
	60	オールウェーブ（クロッキノールカールの作り方）	～	国試対策
	61	オールウェーブ（7段目のシェーブの確認）	227	"
	62	オールウェーブ（クロッキノールカールの作り方）	228	"
	63	オールウェーブ（7段目の確認）	～	サロン実務実習（環境理解、衛生意識行動、美容技術習得）
	64	"	255	"
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の平均で評価する			
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	職業実践II			
実務家教員授業	○			
学部・学科	美容科			
履修年次	2年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択必修			
授業方法	演習・実習			
授業時間	180時間			
授業コマ数	90コマ			
授業概要	各実習、演習を通じ実社会での即戦力としての知識と実践力を習得する。			
授業の進め方	各種実習を通じて、基本知識の習得や技能の定着を図る。			
達成目標	実務に見合った知識・技能を習得する。			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	シャンプー バックシャンプー (サイドとバックの違い)	77	テクニカル エフェクトカット (チョップカット、ポインティング)
	2	シャンプー バックシャンプー (ウェット手順、ヘアドライ)	78	テクニカル
	3	シャンプー バックシャンプー (1シャンプー手順説明)	79	テクニカル エフェクトカット (ストロークカット、スライドカット)
	4	シャンプー	80	テクニカル
	5	シャンプー バックシャンプー 1シャンプー 相モデル	81	テクニカル レザーカット (ワンレングス、グラデーション)
	6	シャンプー	82	テクニカル
	7	シャンプー	83	テクニカル レザーカット (セニング)
	8	シャンプー	84	テクニカル
	9	シャンプー バックシャンプー (2シャンプー、スキャルブマッサー手順説明)	85	テクニカル ヘアスタイル制作 (カウンセリング 相モデル)
	10	シャンプー	86	テクニカル ヘアスタイル制作 (カット プラント)
	11	シャンプー バックシャンプー 2シャンプー 相モデル	87	テクニカル ヘアスタイル制作 (セニング)
	12	シャンプー	88	テクニカル ヘアスタイル制作 (カラーリング)
	13	シャンプー	89	テクニカル ヘアスタイル制作 (スタイリング)
	14	シャンプー	90	テクニカル ヘアスタイル制作 発表
	15	シャンプー バックシャンプーテスト		【選択授業】
	16	シャンプー ヘッドスパ手順説明	61	メイク オリエンテーション
	17	シャンプー	62	メイク ポイントクレンジング
	18	シャンプー ヘッドスパ 相モデル	63	メイク クレンジング
	19	シャンプー	64	メイク 化粧水
	20	シャンプー ヘッドスパテスト	65	メイク 乳液
	21	ヘアデザイン デザイン考案	66	メイク ベース
	22	ヘアデザイン デザイン考案・試作	67	メイク 手指消毒～ベース 手技通し
	23	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	68	メイク
	24	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	69	メイク 手指消毒～ベース 相モデル
	25	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	70	メイク
	26	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	71	メイク
	27	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	72	メイク 手指消毒～コントロール、コンシケー、ファンデーション、ハイローチーク
	28	ヘアデザイン ウィッグ制作 (カラー)	73	メイク 通しメイク 相モデル
	29	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	74	メイク
	30	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	75	メイク
	31	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	76	メイク
	32	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	77	メイク
	33	ヘアデザイン ウィッグ制作 (試作)	78	メイク
	34	ヘアデザイン ウィッグ制作 (ウィッグ作品制作)	79	メイク
	35	ヘアデザイン ウィッグ制作 (ウィッグ作品制作)	80	メイク
	36	イベント ガイドンス、経費見積もり作成、スタイル考案	81	メイク
	37	イベント スタイル考案	82	メイク
	38	イベント 制作 (ウィッグ練習)	83	メイク イメージメイク (90年代)
	39	イベント 制作 (ウィッグ練習)	84	メイク
	40	イベント 制作 (メイク練習)	85	メイク 傷メイク (アザ、切り傷)
	41	イベント 制作 (メイク練習)	86	メイク 傷メイク (火傷、大けが)
	42	イベント 制作 (デモ練習)	87	メイク ハロウィンメイク (ゾンビ)
	43	イベント 制作 (デモ練習)	88	メイク ハロウィンメイク (作品準備)
	44	イベント 制作 (デモ練習)	89	メイク ハロウィンメイク (作品制作)
	45	イベント 制作 (デモ練習)	90	メイク
	46	イベント 完成作品見直し		【選択授業】
	47	イベント 演出考案	61	アイラッシュエクステンション まつ毛エクステ入門、衛生学、消毒、ワゴンセッティング
	48	イベント 演出考案	62	アイラッシュエクステンション 商材学①、ツイーザーワーク①
	49	イベント リハーサル	63	アイラッシュエクステンション ツイーザーワーク②、テーパーワーク
	50	イベント 模擬テスト	64	アイラッシュエクステンション 生理学、病理学、装着レッスン、リムーブ
	51	美容総合技術 ヘアスタイリングについて (組み合わせ、効果的なスタイリング方法)	65	アイラッシュエクステンション 商材学②、テーパーワーク、装着
	52	美容総合技術 スタイリング剤の知識 (トランスメントタイプ、クリームタイプ、ワックス、スプレー)	66	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	53	美容総合技術 ヘアアイロンの使い方 (カールアイロン、ストレートアイロン)	67	アイラッシュエクステンション 病理学
	54	美容総合技術	68	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	55	美容総合技術 スタイリング剤の使い方	69	アイラッシュエクステンション カウンセリング学、カウンセリング
	56	美容総合技術	70	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	57	美容総合技術 スタイリング考案	71	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	58	美容総合技術 カウンセリング 相モデル	72	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	59	美容総合技術 ヘアスタイリング実践 相モデル	73	アイラッシュエクステンション アフターカウンセリング学、アフターカウンセリング
	60	美容総合技術	74	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
			75	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	61	テクニカル ヘアスタイルについて (組み合わせ、効果的なスタイリング方法)	76	アイラッシュエクステンション デザイン学、デザインカウンセリング
	62	テクニカル フォルムとシルエット (美しいヘアスタイルを考える)	77	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	63	テクニカル デザイン考案 (ヘアデザインのポイント、見せ方)	78	アイラッシュエクステンション 接客学、装着レッスン
	64	テクニカル	79	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	65	テクニカル ヘアデザイン画作成	80	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	66	テクニカル	81	アイラッシュエクステンション マーケティング学
	67	テクニカル ウィッグ制作 (プラントカット)	82	アイラッシュエクステンション 下まつ毛装着レッスン
	68	テクニカル	83	アイラッシュエクステンション 下まつ毛装着レッスン
	69	テクニカル ウィッグ制作 (セニングカット)	84	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	70	テクニカル	85	アイラッシュエクステンション 装着レッスン
	71	テクニカル ウィッグ制作 (ヘアカラー)	86	アイラッシュエクステンション 試験対策 (学科)、模擬試験 (実技)
	72	テクニカル	87	アイラッシュエクステンション 模擬試験 (実技)
	73	テクニカル ウィッグ制作 (メイク、デコレーション)	88	アイラッシュエクステンション 定例試験 (実技)
	74	テクニカル	89	アイラッシュエクステンション 定例試験 (実技)
	75	テクニカル ウィッグ制作 (スタイリング)	90	アイラッシュエクステンション 松風公認試験 (筆記)
76	テクニカル ウィッグ制作発表			
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の平均で評価する			
備考	欠席した場合、不足する時間に相当する補講に参加もしくは課題を提出しなければ履修を認めないものとする。			